

わがLOMの  
シニアクラブ

## 大分JC [大分]

# まちづくりに大きく寄与できる OB会としての支援を目指す



新年互礼会での乾杯



懇親会後は現役と輪になり若い我等を



台湾訪問での1コマ

1953年8月27日、全国46番のLOMとして大分別府JCは誕生しました。30名のチャーターメンバーで発足以来、戦後大分の経済復興を目指し、地域に根ざした活動を展開してきました。

その後、工業都市としての発展を目指す大分市と、観光都市としての成熟を目指す別府市との地域性の違いが明確になり、1976年に大分・別府は分離独立し現在に至っています。ここ数年、LOMの再編が進むJCを見ると経済と社会をとりまく環境の違いを感じます。

## 大分

JCシニアクラブは「大分JC OB会」という

名称で親しまれ、独自の活動としては年に一度の総会、有志による還暦祝いの会を行っています。現役諸君とは、年初の新年互礼会や秋の交流例会、年末の卒業生を送る会を中心に、シスターJCである台湾の基隆JCとの相互訪問や厄払いの会で交流を深めています。また近年では大分市民祭りや、2002年のワールドカップ大分開催の運営をそれぞれの立場と役割で協働参画でき、そこに同じ釜の飯を食った仲間という意識の大きさと、相変わることなく持ち続けているJCを思う気持ちを強く感じました。

OB会のスタンスは、側面支援に徹し、現役の活動に口を出さないという考え方を貫いており、JC運動の根幹ともいえる若さと斬新なアイデアと行動力がまちづくりに十分生かされることを望んでいます。とはいえ全国的なことは思いますが、現役諸君とOB会が一同に会するとき、増加するばかりのOB会員数と、年々減少する現役会員数の現実を目の当たりにすると、会員拡大においてはOB



厄払いの会にて

会としても危機感をもってフォローしていく必要性を感じ、行動に移しています。

現役を離れて思うこととして「企業人として企業」を「家庭人として家庭」を考えると当然ですが、JCのことで、まちづくりのことはJCに関わらなければ考える機会が激減するということなのです。

2003年に大分JCが50周年を迎えたことを機に「大分JC OB会」として、これからも、大分のまちづくりにJCが大きく寄与できるように、さまざまな場面で後方支援していきたいと考えています。

大分JC OB会 会長 川崎裕一